

平成 28 年度 事業報告書

第 57 期

施設名	春日学園		
サービス・施設種別	障害児入所施設		
住所	〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村 65 の 1		
連絡先	電話 0795-75-1080 fax 0795-75-0377		
認可・利用定員等	40名(入所30名・DS10名)	職員定数	16名 (入所13名・DS3名)

事業開始日 昭和 36 年 2 月 1 日

1. 総括

平成 28 年度春日学園は、①個別サービスの質の確保、② ライフステージごとの個別支援の充実、③地域における縦横連携、④食を通して人がかかわりながら楽しめるような地道な日頃の食事の提供を重点計画として職員全員で取り組みました。(取り組みの詳細につきましては下記「利用者へのサービス」の通りといたします)

本年度も積極的な地域生活への移行を進め、全 5 名を地域及び成人施設への移行に結びました。内訳は、地域生活への移行 4 名(みつみ福祉会グループホーム 1 名)と成人施設への移行 1 名(みつみ福祉会成人施設)としていますが、一方で入所依頼は減少し、28 年度 3 月 31 日の時点で 21 名の入所利用に止まり、今後の課題とするところです。

地域貢献事業への取り組みにつきましては、継続事業として『絵本の読み聞かせ』『親子あそび』に加えて本年度より『こども食堂』を行いました。子供達の孤食を無くす試みとして、11 月から毎月 1 回春日住民センターに於いて実施し、リピーターも含め延べ 47 名の方のご利用がありました。食事だけでなく、ゲームや遊びも工夫しながら今後も継続して実施していきます。

2. 利用者へのサービス

(1) 利用者サービス

ご利用者の特性や好きなものはそれぞれ違い、皆で一緒に何かをする時間を多く持てるような環境の提供をしました。中でも外で遊ぶ事を大切に、サッカーや野球などのスポーツを皆で一緒に遊ぶ機会を増やしました。長期休暇などの余暇の提供を充実させ、様々な特性のご利用者が一緒に遊ぶという機会を多く持ちました。ご利用者からも「楽しかった」「また遊びたいね。」という言葉もたくさん聞えてきました。

またスノーズレンルールの整備をしてリニューアルしました。ご利用者にとってもリラックスできる場として活用をしました。視覚的アプローチとしては、職員間で「自閉症研究チーム」を作り、職員の知識や技術の向上に結びました。園内に絵カード、写真を掲示し過ごしやすい環境作りに努めました。例えば、歯磨きの仕方、入浴方法をそれぞれ浴室や洗面所に掲示し、視覚的なアプローチをしました。

高等部のご利用者にはお小遣いを支給し、卒業後の生活に向け金銭管理や計算を学んで頂く様に支

援しました。自身で金銭の管理をし、好きな時に自分で買い物に行き、好きなものを買える機会を設けました。また、余暇の時間にはタブレットやパソコンを利用し、好きな動画や音楽を楽しみました。

(2) 18歳以上の利用者・入所児童の地域生活への移行等について

28年度学卒予定者2名については、保護者や各関係機関と連携し、地域移行とみつき福祉会グループホームへの入居に繋がりました。また、強迫性障害の利用者を1年間限定で受入れ、様々な特異な行動に対しても出来る限り受け入れる形での支援をし、地域移行に繋がっています。年度途中で兄弟での入所(小学生)もありましたが、保護者の事情により、1か月で退所となったケースもありました。また、19歳以上のご利用者についても、保護者や各成人施設との調整を図り、見学や体験入所を経て、地域移行(1名)と春日育成苑(1名)への入所に繋がりました。

(3) 地域貢献事業について

ア. 絵本の読み聞かせ

7月、1月、3月に実施しました。年に3回の実施ですがリピーターの方や新規の方にたくさん参加させて頂くことができました。内容についても充実してきているとの声もあり満足して頂くことができました。

イ. 親子遊び

毎月2回実施し、季節にともなった製作活動や遊びを提供しました。リピーターの方がお友だちを誘って参加されるケースも増え、口コミでも少しずつ広まってきています。活動後の栄養士による手作りおやつも好評でとても喜んで頂いています。

ウ. こども食堂

11月から実施した事業であり、メニューはワンプレートメニューを提供しました。春日住民センターでの実施と言う事であり、何か一緒に作ることが前提であった為簡単な・目玉焼きを焼いてもらう・餃子を包んで焼く・ウインナーを炒める事をしてもらいました。また3月にはみんなでおにぎらずと一緒に作り大変好評でした。又ご飯以外の余暇時間には室内で遊ぶおもちゃや本・パズル・トランプなどで遊んで過ごされました。参加者の中にはリピーターの方も多数おられ楽しみにされています。

(4) 給食サービスについて

季節の食事を大切にし、目でも楽しめる盛り付けを工夫した食事提供・行事として夏には流しそうめん・BBQの提供。一泊旅行では小・中学部のご利用者と一緒に夕食作りをしました。オーダーメニューの実施、毎月の選択メニューも毎回全員その場で選んでもらえるように献立の工夫(例:ラーメンの味の選択)をしました。

調理実習も平日の日中に実施し、余暇の時間として楽しんでもらえたと思います。又3月には卒園予定者2名と全員分のカレーを作り、他のご利用者にカレーをふるまいました。おやつ作りは作りたいたい利用者を中心に実施した為、来年度は均等にみんなが参加できるおやつ作りを実施したいと思います。

また、必要のご利用者に対してエジソン箸を使用し、正しい箸の使い方を学んでいただき、必要と感じた利用者には介助食器・介助スプーン・フォークでの食事提供しました。介助食器の必要なご

利用者については各1品ずつ準備し、他メニューと味が混ざらない様に工夫しました。水分が中々取りにくいご利用者にはお茶ゼリー・水分補給ゼリーを提供する事によりスムーズに水分摂取して頂いております。

(5) 放課後等デイサービス

放課後等デイサービス「カラフル」では生活習慣が身につくよう「自分の事は自分で行う」ように支援を行ってきました。高等部になると制服から私服への着替えがあります。4月当初は制服を脱いだら脱ぎっぱなしだったのが毎日の声かけと小さな手助けにより今では綺麗に制服をハンガーに掛け、脱いだポロシャツを畳むことが出来るようになりました。小学部に入学された方は学校にもカラフルにも慣れていない状態の中で不安や甘えがありました。絵カードやホワイトボードも活用しながら安心してカラフルが利用できるように取り組んできました。活動に参加する・遊ぶ時・甘える時とメリハリある支援を行いました。

日中活動として、集い後に製作活動（毎月の壁面制作や工作）と室内活動（ボーリング、サーキット、じゃんけん大会等）と屋外活動（散歩、ボール遊び、遊具、生き物見つけ等）を行いました。天気のよい日は出来る限り外で過ごすようにしてきました。

音楽療法も月2回実施してきました（みつみ学苑の音楽療法士）。音楽療法を通して表情の変化の少ないご利用者がとても柔らかい笑顔をされたのが印象に残りました。集団活動が苦手なご利用者も同じ空間で過ごす方、参加する時間が伸びてきた方と効果が表れています。回数を重ねる事で効果が期待できると思われるので29年度は月4回を予定しています。

(6) 短期入所事業【空床型】

丹波市・三田市・綾部市から利用希望がありました。短期入所利用希望の理由としてレスパイトや兄弟姉妹の時間作りでした。平日利用される方もありましたが週末に利用希望が重なる事が多くありました。可能な限り受け入れをしてきました。

(7) 日中一時支援事業（さくらんぼ）【対象地域】丹波市 事業開始平成18年4月3日

土日祝祭日を利用される方、仕事の都合で登校前に利用される方、仕事の都合で「カラフル」の迎えに間に合わない方が利用されました。1日の定員を10名までとしていますが10名に達する事はありませんでした。ショートステイを利用される方との調整を行い、お断りする方もありました。

(8) 療育等支援事業（てとてと） 事業開始平成22年4月3日

地域の学校や自宅へ訪問し、個別療育・保育支援を実施しました。

実施内容については下記の通り実施しました。

ア. 在宅支援訪問療育等指導事業【実施件数 180件】

自宅での個別療育、保育支援を実施しました。保護者の方と支援内容を相談し実施しました。また、関係機関とも情報を共有することで統一した支援を行なえるよう努めました。

イ. 施設支援一般指導事業【実施件数 50件】

学校、こども園等へ訪問し、情報交換を行いました。丹波市内の養護施設とも繋がりができ、対象児への個別療育施設スタッフへの指導も実施しました。

3. 健康管理・災害訓練等・会議の状況

実施月	健康管理	災害訓練	会 議
5月	前期健康診断	法定点検(前期)	
6月	腰椎健診(職員)	総合避難訓練 (通報訓練) 消防署査察	防火管理委員会
11月	後期健康診断 インフルエンザ予防接種	法定点検(後期)	防火管理委員会
12月		総合避難訓練 (通報訓練)	
3月	腰椎健診(職員)	災害備蓄品更新	
毎月	体重測定・嘱託医往診	避難訓練・消火訓練	企画職員会議 生活指導委員会 ケース会議 給食委員会
毎日	服薬管理		
随時	歯石除去・ ブラッシング指導		判定会議 RM会議 学校連絡会

4. 職員研修の状況

実施月	研修名	実施主体	開催場所	参加者
6月	発達臨床学習会	発達支援センターク ローバー加西ブラン チ	ラヴィ加西	保育士1名
	スヌーズレンセミナー	協同の苑もとやま園	協同の苑もとやま園	保育士1名
	福祉新任職員フォロー アップ研修	県社協	OAA はりまハイツ	新任職員1名
	全国的障害関係施 設長等会議	日本知的障害者福祉 協会	パシフィコ横浜	副施設長1名
7月	福祉新任職員フォロー アップ研修	県社協	OAA はりまハイツ	新任職員1名
	兵庫県給食施設協議 会【第19回総会並 びに研修会】	丹波市	丹波の森公苑	栄養士1名

8月	サイバー犯罪について	氷上特別支援学校	氷上特別支援学校	保育士1名
	阪丹但施設協会職員研修会	阪丹但施設協会	三田市商工会館	指導員1名
	自閉症eサービススキルアップ研修	自閉症eサービス	BONキッズ谷町セミナールーム	保育士1名
9月	阪丹但施設協会職員研修会	阪丹但施設協会	三田市総合福祉保健センター	保育士1名
	自閉症eサービス研修	自閉症eサービス	西宮市総合福祉センター	保育士2名
	障害児通所支援事業所研修会	兵庫県	兵庫県民会館	児発管1名
10月	自閉症eサービス研修	自閉症eサービス	西宮市総合福祉センター	保育士2名
	ブロック別児童福祉施設給食関係者研修会	姫路市	姫路市市民会館	栄養士1名
	高齢者・障害者虐待対策地域連絡会	丹波市	ハートフルかすが	主任1名
11月	自閉症eサービス研修	自閉症eサービス	西宮市総合福祉センター	保育士2名
	阪丹但地区知的障害者施設協会 研修会	阪丹但地区知的障害者施設協会	三田市総合保健福祉センター	主任1名
	レクリエーション・リーダー養成講習会	ソウウェルクラブ	新大阪丸ビル別館	保育士1名
1月	相談支援フォローアップ圏域研修	丹波健康福祉事務所	丹波の森公苑	児発管2名
2月	近畿地区知的障害関係施設職員研修会	近畿地区知的障害者施設協会	クサツエストピアホテル	保育士1名

	公開事例発表会	阪丹但地区知的障害者施設協会	ななくさ学園	保育士 2 名
	こども食堂フォーラム	兵庫県社会福祉会	兵庫県福祉センター	栄養士 1 名
	子どもの理解と発達支援研修	兵庫県社会福祉協議会	兵庫県社会福祉研修所	児発管 1 名
	児童発達支援管理者情報交換会	県知協児童発達支援部会	神戸市心身障害福祉センター	児発管 2 名
3 月	自閉症 e サービス実践報告会	自閉症 e サービス	社会福祉指導センター	保育士 1 名
随 時	県児童発達支援部会	県知協	神戸市心身障害福祉センター他	管理者
	丹波市生活訓練事業	丹波市	ハートフル春日	保育士 1 名 指導員 1 名

5. 行事等の状況

実施月	行事名	実施場所	内容・ねらい等
4 月	春の遠足	春日町内	季節行事（職業部・保育部）
5 月	音楽イベント（カミング神戸16）	ワールド記念ホール	利用者リクエスト事業
	ドリームナイト・アット・ザ・ズー	神戸動物王国	招待事業
	春の里フェスティバル	施設内外	地域・家族・施設間交流行事
	野球観戦	春日スタジアム	利用者リクエスト事業
	蛍鑑賞	春日町内	季節行事
6 月	梅もぎ	三ツ塚史跡公園	丹波市招待事業
7 月	七夕祭り	施設内	季節行事
8 月	一泊旅行 1 班（海水浴）	豊岡市民宿	利用者リクエスト行事
	一泊旅行 2 班（宿泊体験）	丹波市宿泊施設	

	野村区棚原区夏祭り	野村コミセン・棚原区グラウンド	地域交流行事
9月	お月見会	施設内	季節行事
10月	春の里スポーツの集い	施設内	地域・家族・施設間交流行事
	棚原地区例祭	棚原地区内	地域交流行事
11月	バス旅行	東条湖おもちゃ王国	家族交流行事
	ウォークラリー	施設内外	利用者リクエスト行事
12月	クリスマス会	施設内	季節行事
	餅つき	施設内	季節行事
1月	初詣	春日神社	季節行事
	とんど焼き	施設外	季節行事
2月	節分祭	施設内	季節行事
	ウインタースポーツ体験	ピュアスポーツ 柏原	利用者リクエスト行事
3月	ひな祭り	施設内	季節行事
毎月	調理実習（春休み、夏休みは除く）	さくらリビング	買物、調理
	誕生日会	食堂	プレゼント贈呈
随時	DVD鑑賞会	避難スペース	DVD鑑賞
	買物模擬店	キッズルーム	買物体験

6. ボランティア・実習生受け入れ状況

実施月	グループ・学校名	内容	人数	備考
随時	更生保護女性会(春日支部)	調理実習	2名	小・中学部生徒の調理実習
	大阪青山大学	保育実習	2名	
	夙川短期大学	保育実習	4名	
	関西学院大学	保育実習	1名	
	聖和短期大学	保育実習	2名	
	湊川短期大学	保育実習	4名	
	近代豊岡短期大学	保育実習	2名	
	関西国際大学	介護体験	1名	
	関西学院大学	介護体験	1名	
	佛教大学	介護体験	1名	

7. 機関紙等発行の状況

区 分	内 容
種 類	春日学園広報誌・カラフル広報誌・ホームページ・ブログ
発送先	保護者、春日町社協、氷上特別支援学校、実習受入の各学校、地域の方、法人内施設
発行月	毎月
部 数	70部
内容等	施設の近況報告（事業予定・実施報告、児童の状況、苦情・要望の受付と報告）

8. 設備品の整備の状況（10万円以上）

実施月	設備備品名	型式	数 量	充当財源等
	無			

9. 資金収支結果

平成28年度決算報告書の通り